

TOKO ミニおしゃべり会 7月報告

7月のミニおしゃべり会では、世話人の藤ヶ谷さんの紹介で、春日部市の古沢さんという方が参加されました。古沢さんは、春日部フェルマータクラブという、子どもからお年寄りまで一緒に学び世代間交流ができる週末教室をしている方です。一度遊びに行ってみたいです。

そのほか、参加者からの近況など

就学ホットライン…埼玉新聞と朝日新聞が載せてくれて、2日間で相談が6件。学習の遅れがあって、この先の高校進学や就労を考えたら中学は特別支援学級と普通学級どちらがいいのか?とか、支援員をつけてもいたいけど予算が無いからつけてもらえないとか、中学校のプールは深いので心配といったら付き添ってくださいと言われたなど。(Tさん:どの子ども地域の公立高校へ! 埼玉連絡会事務局)



急に支援学級の生徒が増えた…4月から支援学級の生徒が急に増えて今は18人、どうしてこの子が?と思うようなお子さんが多い。障害というより、普通学級でいじめにあったとか、家庭環境が複雑だとかで。家庭の問題など負の連鎖、どうにかならないか歯がゆい思いをしている。(Sさん:千間台在住、お子さんは中2で支援学級在籍)

中3になっていじめも落ち着いてきた…広汎性発達障害の娘、小学校就学前に知的な遅れがあると診断され、支援学級を勧められたがずっと普通学級で来た。社会性を身につけてもらえたらと思って頑張ってきたら、集団の中で刺激を受けるうちに中学になってから勉強についていけるようになってきた。これは全く想定外。ひどいいじめもあって、本人より自分がまいってしまったりもしたが、学校の先生に相談、対処してもらっているうちに落ち着いてきた。(Uさん(春日部市在住、お子さんは中3で普通学級在籍))

高校のことで悩んでいる知り合い…いじめもあって支援学級に移ったが、中3になって高等養護を目指そうにもボーダーで手帳が取れず受験資格がないとか、支援学級だと内申点につかないとか、パニックになっているお母さんがいる。支援学級を勧められたときに一切説明がなかったらしい(Uさん)

公立高校受験ができないと念押しされた…越谷でのケース、いじめで支援学級に移ってきたお子さんは、普通の公立高校は受けられないがそれでいいかと念押しされてきたと聞いた(Sさん)…などなどおしゃべりタイムは続きました。

8月は9日(金)、9月は13日(金)に行います。ぜひ一度のぞきにきてください。

いっしょに育ち学ぶための勉強会 せんぱいの話を聞いてみよう

場所： 9月8日(日) 午後1時半から
場所： 越谷市民活動支援センター 活動室A
話し手： 網島健作さん
参加費： 500円



今回の勉強会は先輩お母さんのお話を伺うのではなく、障害のある先輩からお話を伺います。話し手は網島健作さん。保育所時代から近所の子供たちと一緒に通い、小、中、高校時代を経て、現在大学生。

網島さんからだけでなく、参加者それぞれからも子供時代のこと、現在のこと、これからの思いなど、出し合って、「共に学ぶ」と「共に生き・働く」ことをみんなでざっくばらんに考えあえれば良いと思います。ぜひおいでください。



越谷市民活動支援センター案内図

越谷ツインシティBシティ5階

※隣に有料駐車場はありますが、高さ制限があります。(高さ2.1m)

連絡・問い合わせ先/中山 携帯 090 - 2202-5271
e-mail:mogucchi22hobbit@docomo.ne.jp